







尙生草中には屢々毒草を含有することがある。元來馬は此等を採食せないのであるが、空腹の場合には往々之を喰し、中毒を發し甚だしきは、死に至ることがあるから注意せねばならぬ。

毒草とは……「あせび(馬醉木)」、「どくうつぎ」、「とりかぶと」、「くさのわろ」、「てうせん朝顔」、「けし」等で左圖の通である。

一般に毒草は陰濕の地に多く生ずるものであることも注意せねばならぬ。